

パブリック・コメントの回答について

「第5次多治見市まち美化計画の策定について」のパブリック・コメント募集手続きについては、令和7年2月10日から3月12日まで募集し、1名から2件の意見が提出されました。いただいた意見と市の考え方は、以下のとおりです。

いただいた意見の要旨	市の考え方
犬のフンについて ● 犬や猫のフンの処理方法を条例やごみ分別ルールに明記し、公共の看板にも「フンは燃えるごみとして捨ててください」と記載する。 ● 犬の登録時や狂犬病予防接種の際に、飼い主に対してペットにまつわるごみの処理方法を説明する。	ごみの処理方法は条例等で規定するものではないため、犬等のフンの処理方法について明記する予定はありません。 犬等のフンは石等の異物が付着している場合は、燃やすごみ。ペットシートの上などでしたものであればおむつ同様、汚物はトイレに流し、ペットシートは燃やすごみです。 ごみカレンダーやごみ分別の手引きへの掲載は、次回改定に向け検討していきます。また、看板はフンを捨てないことを主目的に啓発しています。 フンの適正処理については、広報たじみやチラシ等により継続して周知、啓発を行っています。
外国人への周知 ● ホームページや配布資料に、英語や中国語、韓国語以外の多言語対応のごみ分別ルールを掲載し、文化に対応したごみの出し方をイラストで示す。 ● 外国人の疑問に答えるQ&A形式の情報も追加する。	ごみの出し方に関する多言語対応は、令和6年度にごみカレンダーに10言語で読み込むことができるアプリのQRコードを掲載することから始めました。 外国語によるごみ分別の情報提供や、ごみとのつきあい方（ごみ分別の手引き）の多言語化は、各種翻訳アプリの活用を含め、今後検討していきます。

以 上